発行
昭和31年11月1日
第29号
印刷 松浦印刷所

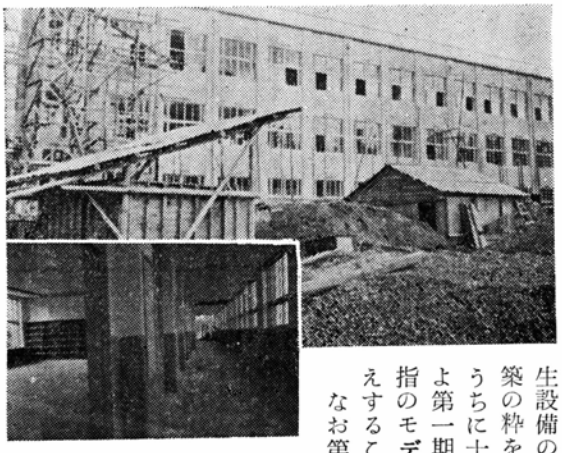
大野市報

発行所
福井県大野市役所
編集人
大野市役所総務課
広報係
電話代表大野900番

建ったぞ！ぼくらのモデルスクール

新市にふさわしい施設

工費は四千四百三十万円



下庄小学校は、総工費四千四百三十万円を費し、鉄筋コンクリート三階建、総坪数七七五坪で採光、通風、耐寒、衛生設備のあらゆる点に近代建築の粋をあつめ、市民待望のうちに十一月二十日、いよいよ第一期工事が完成、県内屈指のモデルスクールがお目見えすることになつた。

なお第二期工事は、九月一日着工、明年三月末完成の予定となつている。

市制いらい一億円

大野市は全国の市の中で二十一番目という広い面積を持つているので人口の割合に学校数も多く中学校十校、小学校十五校、それに分校十三校があり、貧弱な市の財政ではこれらの維持管理はなかなか容易ではない。しかし教育の重大性にかんがみ、これを市政三大重点施策の第一にあげまず老朽校舎の改築、学校施設の改善にあたつてきている

すでに、有終中学校特別教室、有終南小学校普通教室、有終西小学校特別教室、小山小学校、嵐分校、六呂師分校

上庄小学校講堂、巌生小学校などの増改築費ならびに施設費に一億余万円があてられ、文字どおり新市の名にふさわしい学校が次々に成つて、生徒の完全教育に腐心している市建設五ヵ年計画目標へ教育施設は、一四九%というめざましい行政実績をあげている

（写真は上、新校舎の外容、下、校内の一部）

えんえん七万六千米

奥地開発の宿願次々に成る

―林道荒島線いよいよ竣工―

林道荒島線は、本年七月二十五日第三期工事に着工し延長二八〇米（幅員二米）がこの程完成した。これで同線の既設林道を含むと八五〇米となる。

この路線の利用面積は七十町歩で蓄積材数は針葉樹一万五千石、広葉樹五千石といわれ、この方面の奥地資源が長い眠りからさめるわけで、地元民は開発に大きな期待をかけている。

市の森林面積は約二万町歩といわれているが、戦後のらん伐により荒廃にまかせてあつた山野も市制とともに治山治水に主力が注がれてきた。

なお本年は、市政三大重点施策の一つに農林振興があげられ、林道網の新設、補修、荒廃事業、樋りようの補修新設などに力が置かれてきている。このため年々植林面積の激増とともに林道の総延長も七万六千米におよび、その数は五十四線にふえた。かくして休みなく治山治水にも市政が進められている。

（写真はでき上つた林道荒島線―木落地籍）

教育委員長に宮田氏

委員長代理松田氏に決る

十月一日午前十時市役所で初教育委員会を開き、次のとおり委員の任期を決め、委員長に宮田開造氏、委員長代理に松田彦一郎氏を決めた。

寺島利鏡（四年）　杉本憲治（四年）　松田彦一郎（三年）　宮田開造（二年）　小林利右衛門（一年）

教育長は寺島氏

職務代理は中村氏に

教育委員会法の改正に伴ない、委員のうちから教育長を県教育委員会の承認を得て任命することになつている。そこで寺島利鏡氏を教育長に任命し、教育長職務代理を中村輿衛氏に決めた。

寺島利鏡氏

補選投票日は20日

前市議会議員杉川三助氏の辞退による補欠選挙の投票日は、十一月二十日にきまる。

あなたは名簿にのっていますか

九月十五日現在で作つた基本選挙人名簿を、有権者の方に見て戴くときが来ました。あなたの名前が正しくのつているかお確かめ下さい

▲とき　十一月五日～十九日午前八時半～午後五時

▲ところ　市役所総務課内選挙管理委員会

風見鶏

今年も「文化の日」がやつてきた。この日になると、日本じゆう津々浦々にいたるまで、文化祭と称して色々な催しが行われるが、果してその中のどれだけの催しが「文化」の名に値いするだろうか

▲明治いらい外国から新しい文物が輸入されるとともに、文化という言葉が生れ「文化住宅」や「文化カマド」までとびだし、最近にいたつては「文化人」という奇怪な人種が出現してしまつた。しかし家やカマドに「文化」をくつつければ売れるという安易な考え方や、「文化人」といわれると何かえらくなつたように考えることそれ自体が「非文化的」なことで、こんなものが幅をきかせているようでは「文化国家」には縁が遠い。

▲これらは「文化」でなく「文明」と呼ばれるべきもので文明の進歩は文化の後退を意味することが往々にして起る。文化とは精神の成長尺度を表し、文明とは物質生活の発達を表すもので、最初から異質であるのに始終一緒なりあつて見えるにすぎない

▲だから自分の精神の成長を望み、より高いものを目標に歩む人にとつては、一年じゆうが「文化の日」であり、そういう人こそ真の「文化人」と呼ぶに値いするのではあるまいか。

※ 秋晴れに ほほえむ 夫婦植林

便利な水道、楽しいくらし

簡易水道 完成急ぐ上打波部落

生活の改善と合理化と生産の増強保健衛生の確保などの点からも、各地で簡易水道施設の気運が高まりつつあるがその一つ、上打波部落がいま工事の完成を急いでいる。

上打波の貯水槽は部落より六十七米の地点に設けられ、水圧水量ともに申し分がない。飲料水のほか一朝有事の場合に備え七ヵ所に消火栓が設けられて、水道施設の効果を十二分に発揮できるようになるので、地元民の喜びも一しおである。

これで市制いらい三千六百四十九万円を費し、五条方、野中東山、開発、唯野、七板、土打上野、下打波、東勝原、西勝原犬山、下黒谷、中据、大門、小矢戸、上据の六百五十戸がこの文化施設の恩恵を受けることになつた。

（写真は簡易水道の取入口）

秋色いま、たけなわ

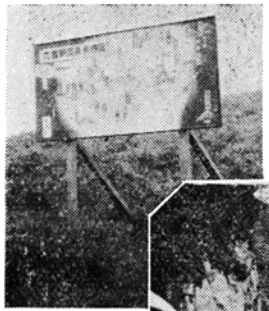
六呂師原には周遊案内図も

竜峡……
頭名……
九頭竜……

奥越一帯はいまもみじ一色にいろどられ景観を競つているが、ことに九頭竜、真名の両岸はいこくは、滝を作り淵となり、重畳の絶壁に点在する紅葉また流れに映え、まさに絵画以上の眺めである。

さらに※都塵を遠く離れた雄大な大高原六呂師原も、いま一望錦に飾られて、わたりくる金風は心ゆくまで疲れた都心をいやしてくれる。

なお奥越高原が県立公園の指定を受けるとともに、市は公園の充実に腐心してきたが、十月末、六呂師高原に周遊案内図を作り、変化の多い高原のうちにいくたの秘められた伝説などを記した標柱を立て、高原的気分を十二分に味つていただくようになつている。



（写真、上は六呂師高原の周遊案内図。下は真名峡銭亀附近）

きれいにしよう
ぼくらの公園

赤ちゃんコンクール

体位は年々よくなる

――選ばれた優良児十八名

昭和二十九年六月から同三十一年五月までに生れた乳児七百五十五名の中から、十八名の優良健康児を選んで、十月二十日、大野公民館で多数の来賓を迎え表彰式を行つた。保健課では、毎年赤ちゃんの健康診断を行い、発育の状態を調べて健康な優良児に育てる指導を行つてきた。このために年々乳児の体位は向上し、効果があがつてきている。

今年度は、七月二十七日から八月十七日までの間に全地区を回り指導をした結果、次の乳児を優良健康児として、母の養育の労苦をたたえ、健康児の将来を祝して表彰した。

旭―森川栄子　二番―宇野裕美子、春日―野田孝則、清水―山形敏二、深井―田中達守　鍬掛―北野恵美子、稲郷―村上裕子、猪島―羽生伸昭、上打波―嶋岸良治、勝原―田中光子、伏石―中村寿美子、不動堂―中村清一郎、下唯野―阿部三恵子、田野―万月巧、中荒井―土屋卓義、中保―長谷川洋子、矢―清水順子、上丁―飯田光治

（写真は優良健康児の記念撮影）

グラフを眺めて ⑫

疲れた婦人に重い汲水作業

小山地区は世帯数三百四十二戸で、そのうち三百五戸が農家で占められている。

いまこの農家を飲料水の利用設備別に調べてみると水道（簡易水道）五十戸、川水使用が四十戸、井戸水のうちポンプ使用百九十二戸、ツルベを使うもの二十三戸ある。

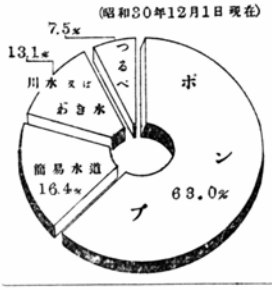
農家の婦人たちはほとんどが主人とおなじように、野良で働き、帰ると疲れた体で狭いしかも薄暗い台所へはいり、食事の仕度に追われるのが常である。また炊事のため、井戸や川からの汲水作業に大きな労力と時間が費されている。

これらの弊害をなくするため市制いらい簡易水道の施設に努力が払われたので追々台所の改善もなされ便利になつた。

このようにして、少しでも婦人の負担をかるくして、教養の向上、健康の増進、情操の純化および経済の確立を図り、生活文化の振興に努めるようめざめてほしいものである。

（グラフは小山地区の飲料水設備別調べを表す）

飲料水利用設備調
（昭和30年12月1日現在）



ポケットにぜひ一冊

32年版 県民手帖

昭和三十二年版県民手帖の購入希望者は十一月十五日までに、市役所商工課へお申込み下さい。

一冊六〇円ですが、生活便覧から県勢要覧、市町村要覧このほか日常必要な常識が二十余種も織りこまれており、内容は昨年よりも豊富になつています。

自衛官第四次募集

奮つて応募を

本年度第四次自衛官の募集が始まつています。十八歳から二十五歳までの男子で身心とも健全な方は奮つて応募して下さい受付は九月一日から十二月二十五日まで。くわしい事は市総務課でお聞いあわせ下さい。

人事

教育委員会学校教育課長に補する
中村　奥衛

教育長職務代理兼大野公民館長を命ずる
十月十日付
寺島　利鏡

教育委員会教育長に補する
松谷　仁市

大野市消防吏員に採用し大野市消防士を命ずる
十月一日付
土谷　好文

教育委員会社会教育課長兼下庄公民館長を命ずる
九月二十日付

商店街の〝お肌〟拝見

11日から経営外部診断

十一月十一日から十三日までの三日間、中小企業診断員経営指導員山家先生を招き、店頭装飾、商品陳列、照明、通路などを調査することになつた。

これは商店街へ新しい時代感覚を取り入れ、活気のある通りにするにはどうしたらよいかという点について診断してもらうもので、診断を希望される方は市役所商工課までお申込下さい。もし申込数が多くて今年診断できない場合は、来年診断することになつています。

農事メモ

落葉果樹の根付　苗木の植付は十一月中に行う。秋植は翌春の発根時期までに土によくなじみ、発根量が多く芽立ちも、その後の生長もよい。植えるとき最も注意を要することは、根を乾燥させないようにすること、深植にならないことである。苗木はぬれむしろなどに包んで運ぶようにする。

果樹そさい一、えんどうの種まき　さい用品種は「八雲」実取用は「ウスイ」がよい。種まきは今月の上旬、早すぎると越冬力が弱くなり、遅すぎると収量が少くなる。連作を極端にきらうから五～七年くらいの輪作が必要。

二、たまねぎ　今月の上、中旬に定植する。密植が増収の要点であるから株間三寸、坪当り百本以上植える。肥料は酸性の中和のための石灰とリンサンの元肥施用に注意する。過リンサンで反当り二〇貫くらい。

レンゲ田の菌核病防除　葉が没するていどに約三日間、三回ぐらい次の期間にかん水する。

土壌と肥料

第一回―十月下旬～十一月上旬
第二回―十一月中、下旬。
第三回―十二月上旬。

地力の維持　稲わらはできるだけ田にかえすことが大切である。稲わらはたいきゆう肥として施すのが最も良い。

なたねの定植　なたねの定植は五～七日前ににが土石灰、ケイサン石灰、消石灰などの何れかを反当り三〇貫内外施し、耕土を良く混ぜ酸性をなおす。

畜産

緬山羊の種付　まだ終つていないものや、受胎しなかつたものはもよりの家畜保健衛生指導所に相談のうえ種付を行う。寒さが増してくるので、畜舎の破れた所は修繕して家畜の衛生を守つてやる長い冬にはいるので何れの家畜も姿勢が悪くなるから晴天の日につめ切りを行う。

今月の行事

上旬　△狂犬病予防注射　於大野、下庄、上庄、富田地区
一日(木)　△中部地方民謡踊り大会　於有終西小学校校庭
二日(金)　△下庄地区市民慰安演芸会、民踊大会　於下庄中学校　△下庄地区慰霊祭
二～三日　△商店訪問競争、生花、写真、家庭用品、週刊雑誌のできる迄等の展示会　於有終西小学校　△市内農林産物品評会　於有終西小学校
二～四日　△下庄地区ソフトボール大会　於下庄中学校校庭
三日(土)　△下庄地区柔剣道大会　於下庄中学校講堂　△生花展示会　於小山公民館　△料理講習会　於小山小中校
五日(月)　△富田地区市民体育大会　於富田校庭
五～十六日　△出張所管内秋季大掃除
十日(土)　△ハーブ、ギター演奏会　於大野公民館
十一～十三日　△商店街診断
十三日(火)　△戸籍事務研究会　於上庄出張所
下旬　△靖国神社遺族参拝

文芸作品入賞者きまる

表彰は十一月三日

大野市教育委員会が行つていた文芸作品懸賞募集は、多数の応募作品がよせられ、九月末日に締切られ、県文化協議会で審査された結果が次の通り発表された。

◇ **詩部門**　第一位入選
「真名川ダム」水落　**小林久子**
◇ **コント部門**　第一位入選
「おかゆ」　水落　**小林久子**
◇ **俳句部門**　第一位入選
「雑詠三句」　中神明　**山奥巌**

また他の部門でも力作が出されていたが、該当作品となるべきものはなかつた。なお表彰式は十一月三日の文化の日に行われることになつている。

植林の好機

山を緑にしよう

植林はいまが一番適期です。一本でも多く植え、子孫のため、社会のため、また大野市の発展のためにも植林しよう

植付には次のことに十分気を配り、植つけた全部が根のつくようにしよう。

△苗木の乾燥をさけ、苗の掘取りから植つけまでの期間を短くしよう。

△根付は表土に植え、土が根もとに十分行きわたるようにし、木の葉や石ころを植穴に入れないようにしよう。

△根を十分ひろげて、その間に土がまんべんに行きわたるようにして土を入れ、乾燥をさけるために落葉や枯草などでおおいをしよう。

市民の明るい動き⑱

勤勉と節倹の中から
ひらける六呂師

六呂師、それは余りにも多くの県民に親しまれていて、今さら説明の要もないが、春のつつじ、夏のキャンプ、秋のもみじ、冬はスキーのにぎわいと、四季を通じて社会のめまぐるしさから離れて、快く包容してくれる県民のオアシスである。

さてこの部落には明治十七年ごろ有志二十一名で節倹の申し合せが取りきめられて、節倹決組合が生れた。それは、このあたりで昔から盛大に行われてきた元服の式、祝儀、葬式などの儀式を簡素にして、集る来客や、村人の接待は最少限にとどめ、節倹から得た金を規約のとおり積立金にして置く組合である。この積立金は、部落内で起つた不時の災害（病気見舞金、家畜の死亡）部落道路の新設、および補修費などにあてられていた。

やがてこの善行に部落民は注目を集め、大正十二年には全部落民がこれに加入した。今もなお区長宅には、古びた「節倹による収金附込帖」の中に、昭和三十年度の収金を記した新しい墨の香りが残つていた。

六呂師は百十余戸の大部落であるが、まとまりが良く、団結心に富んだ部落である。

戦前は馬の産地だつたが、戦後は和牛の飼育が盛んになり今では約四十頭が飼われており、一昨年から、このあたりに恵まれた草原も巧みに利用して、二十町歩の放牧場を全部落民の手で建設、電気牧柵などの新しい設備を導入して、ここで約三十頭の牛が放牧されている。

また元陸軍演習地として使われていた六呂師高原の一部は戦後地元民に開拓地として還元されることになり、一戸平均三反四畝歩が開拓されているが、これも日を定めて全員が出て開墾している。

かくして、山はひらけ野は耕され、土地の最高度利用の面からも、市発展の歴史の刻みが進められている。

（写真は共同開畑作業）

※ 大野市の 治山治水は 植林から

②

国民皆保健

A子＝なぜ医療保健へ全国民を入れさせなければならないのですか？

お答＝生活扶助を受けている援護家庭で、扶助を受けるようになった原因を厚生省が調べたところ、この原因の六割が世帯主が病気になったとか、また家族に病人ができて、これによる家計の貧困が最大の原因であるということがわかりました。そこで生活保護本来の扶助であるべき生活扶助の実際は、医療費にあてていることから、国民生活に医療費の負担が実に重いという事がわかりました。

このほか、いろいろな関係でこれとほぼ同様のいわゆる援護の線すれすれの所にある家庭の多いことから、この不均衡をなくする意味でも、ぜひとも国民健康保険へ全国民を加入させようということになりました。

国では、このほかに老齢年金遺族母子年金制度を設けて、社会保障制度の確立を図るよう計画が進められています。

〔郷土いろはかるた〕

ぬけるトンネル　法善壁

京福大野駅から約二十キロ、国鉄バスで九頭竜川に沿つて上ると「法善壁」がある。岩壁が頭上にせまり、九頭竜の流れが足下を洗う。湯上トンネルを通りぬけると、左方から、霧降の滝が夏なお涼しい滝しぶきをあびせかける。

大野領主土屋左馬介正明

松平秀康にじゅん死

大野に残つている領主の墓で一番古いのは、土屋左馬介正明（つちやさまのすけまさあき）のものであろう。非常に荒れているが、善導寺墓所内にある。

正明は昌春（まさはる）ともいい、甲斐の国（山梨県）の人で代々武田氏に仕えていた父昌次（まさつぎ）は武田勝頼（かつより）の弟で土屋氏の養子となつたと伝えられている。

武田氏が亡びると、昌次はじゆん死した。正明は徳川家康につかえ、沈着で威望があり、正直で決断力のある人であつた。

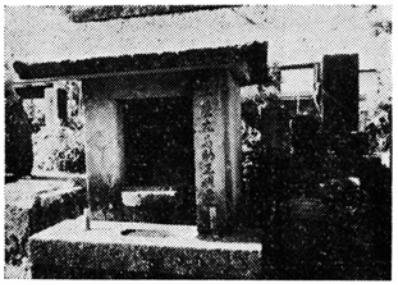
秀康はその気性を愛し、父に願つて家臣とした。関ガ原の合戦が起ると秀康に従い、宇都宮に出陣して戦功をたてたので、慶長六年秀康が越前に封ぜられると、この功を賞して大野三万八千石を賜わつた。

また善導寺を野口村（現在の二番と三番上鋸町附近）から今の所に移し堂を建てて、いらい興隆の基が開いた。そのため正明は善導寺中興開基といわれている。

慶長十二年うるう四月八日、恩主松平秀康公が死なれると、公の死を非常に惜しまれて、徳をしのび、恩にむくいるために公の墓所、孝顕寺（福井市足羽山山麓）で公を追つて自刃（じゆんじ）した。正明の家臣、右衛門もともに死んだ。時は慶長十二年四月十一日であつた。

公の遺徳をしのび現在の墓所をぜひ市の文化財として修復してほしいものである。

（写真は正明の墓）



子供のしあわせを願い
母親と女教師の会

さる十月二十日午後一時から約四時間、有終南校で大野郡市内の母親女教師、保母、婦人団体員三百余名の参集のもとに、母親と女教師の会が開かれ、始終熱心に研究が続けられ多くの収穫を収めた。

即ち研究テーマを次の四つに分けて各分科会ごとにそれぞれの助言者とともに研究された。

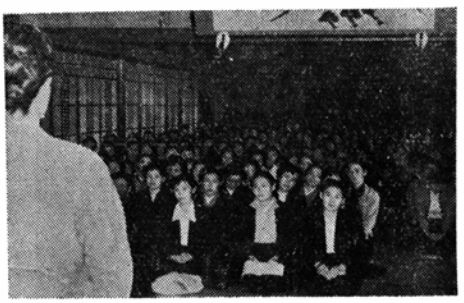
一、学習およびしつけについて
助言者　市指導主事　田中豊
　　森目校長　大谷勉

二、環境および健康について
助言者　県「子供を守る会」
　　知事夫人　羽根明子

三、働く子供および恵まれない子供について
助言者　県中央児童相談所長
　　吉田秀尾

四、進学就職及び教育費に付て
助言者　旧教育長　滝波与六
　　大高教諭　宮本保

なお紙面の関係上細部について収録することができないが、各学校あてにこれらの記録が配布されることになつている。



（写真は羽根夫人のあいさつ）

声

市報を早く配つてほしい

市報第二十八号（十月一日発行）は十月十三日にようやく配られました。私は直に各戸に配布しましたが、記事の中のお知らせなどは期日が半分も経過しているものもあり、その効果は半減してしまいます。せつかくのお骨おりもムダになりそうな気がして残念やら気の毒な気がしてなりません。せめて発行後五日ぐらいで市民の手に渡るように気を付けて欲しいものです。

（萩ガ野区長　米村）

〔お答〕市報の発行についてあなたの親切な、しかも積極的な御意見にはお礼申します。市報は毎月二十七～八日頃に印刷所へ原稿を渡して四～五日のうちに、文選、写真製版、校正刷再校正などを経て、発行は一日か二日にはできあがり、各出張所へ配つています。経費の関係もありますので、各区長さんまで郵送もできずおくれる事もありますが、今後はなお一層注意したいと思つています。

大根おろしの効力

1　水アメをまぜて食べるとセキどめタン切れに効果があります。

2　おろしとショウガと半々にまぜてのむと、声のかれた時は、ふしぎに声がよくでるようになります。

3　頭痛、耳の痛いときなどほんの少し鼻の孔につけるとなおります。

4　たたみにインクをこぼした時、しぼりかすをのせておくとよく吸いとります。

たき火は消防署へ届出を

野外でたき火をする場合は、必ず事前に消防署へ、書面または電話で届出をして下さい。